

オランダ・マレーシアとの国際交流

オランダ・マレーシアとの交流のきっかけ

オランダとの交流は平成30年に三芳町がオランダの東京2020大会ホストタウンに登録されたことがきっかけ。マレーシアとはペタリングジャヤ(PJ)市と東入間青年会議所の姉妹提携(1989年)がきっかけとなり、交流を続けてきました。



Netherlands

2023年 オランダ親善大使オンライン交流①②③

2022年 オランダ国際理解講座①②

2021年 PJ市国際フオークロアフェスティバル参加

2020年 オランダ親善大使オンライン交流①②③

2020年 東京2020大会オランダ女子柔道選手団事前キャンプ

2020年 マレーシア大使館出張オンライン授業

2020年 マレーシア大使館出前講座

2020年 オランダ・マレーシア海外派遣中止

2020年 新型コロナウイルスによるパンデミック

2019年 三芳町がマレーシアの共生社会ホストタウンに登録

2019年 オランダ・マレーシア海外派遣開始

2019年 マレーシア海外派遣

2019年 オランダ女子柔道選手団トレーニングキャンプ①

2019年 オランダ女子柔道選手団トレーニングキャンプ②

2019年 オランダ女子柔道選手団トレーニングキャンプ③

2018年 三芳町がオランダのホストタウンに登録

2018年 マレーシア海外派遣

2018年 みよしまつりでマレーシア文化交流

2018年 PJ市国際フオークロアフェスティバル参加

2018年 マレーシアペタリングジャヤ市と姉妹都市提携

2018年 三芳町がオランダのホストタウンに登録

2017年 マレーシア海外派遣

2016年 マレーシア海外派遣

2015年 マレーシア海外派遣

2014年 マレーシア海外派遣

2013年 マレーシア海外派遣開始

Malaysia



マレーシアへの海外派遣に参加した野田さんは、国際交流のポイントを「とにかく、たくさん話して経験すること」と話します。コミュニケーションを重ねてつながりを作り、絆を深めた経験は、きっと自信になるはずです。

海外派遣を経て、進路が具体的に変わった飯塚さん。将来の夢が見つかった野田さん。また、オンライン交流や国際理解講座を経て、英語学習への意欲を新たにした児童生徒たち。三芳町が行う国際交流は、確かに、未来を見据える若者の人生の糧になっていました。国際交流はあくまできっかけづくり。彼らは自分の未来を自らの手で切り開いています。

国際化をはじめ、常に変化し、複雑化する社会。そんな今だからこそ、国際交流で異文化を理解し、多様性を認め合う「多文化共生」の考えのもと、世界に視野を広げることが必要なのかもしれない。あなたも世界に目を向け、人生を変える経験をしてみませんか？

—特集— 終

世界をひらく。

三芳町では、国際交流を続けています。コロナ禍でも、人生を変える経験を。

それでも世界とつながり、世界をひらくため、新型コロナウイルス感染拡大で海外派遣は見送り。



オランダ親善大使オンライン交流

町内各中学校から親善大使を募り、ビデオコミュニケーションツールを活用してオランダの現地校「モンテッソーリ・カレッジ」、「BSレーゲンボーク小学校」と交流を行いました。オランダ現地校の生徒からは、日本での当たり前を見つめ直すきっかけになる質問も…。あなたならどう答えますか？

オランダ現地校からの質問

- 挨拶の時、なぜ頭を下げるの？
- なぜ食事の時箸を使うの？
- 日本語の文字にはなぜ漢字、平仮名、片仮名があるの？

生徒の感想

- お互いのことについて話すことで違いだけでなく共通点も知ることができ、とてもいい経験だった。
- 今回の交流事業で英語をもっと勉強してオランダに行ってみたいと思うようになった。

国際理解講座

大使館の職員が講師となり、それぞれの国の地理、歴史、文化、食事などを児童生徒に紹介。オランダ王国大使館職員は中学生を対象に、マレーシア大使館職員は小学生を対象に講座を行いました。児童生徒からは積極的に質問が投げかけられ、英語を上達させたいという感想も聞きました。

